

J R高松駅 イベント広場にて 『来るべき巨大地震に備えて』パネル展を実施します

国土交通省の東日本大震災への対応と
東南海・南海地震への取り組みを紹介します。

平成23年3月11日14時46分、国内観測史上最大規模の地震(マグニチュード9.0)となる「東北地方太平洋沖地震」が発生しました。

震度7にも達する大きな揺れと、それに伴う猛烈な津波により、極めて多数の人命と甚大な資産が一瞬にして失われるという甚大な被害をもたらしました。

こうした中、国土交通省では、道路、河川、港湾などの施設被害の調査を行う調査団、排水作業のためのポンプ車、早期に地元の要望を把握するための橋渡し役である市町村リエゾン、海面を漂流するゴミ回収のための海洋環境整備船など、多くの職員(TEC-FORCE)を派遣して様々な支援活動を行いました。

今回の巨大地震・津波による被害概要、四国地方整備局の東北への支援、近い将来起こりうる東南海・南海地震への備え等、東北への復旧・復興に向けた取組や、四国における防災対策などを広く紹介することで、四国における防災意識の向上を目的にパネル展を開催します。

展示場所：J R高松駅 イベント広場

展示期間：平成23年7月2日(土)～7月18日(日)

平成23年 6月30日

本施策は、四国広域地方計画「No.6防災向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局

企画部 防災対策官 松本 秀應 (内線3125)

防災課長 上林 正幸 (内線3411)

TEL (087) 851-8061 (代表)

(087) 811-8310 (ダイヤル)

パネル展の開催趣旨

○平成23年3月11日14時46分「東北地方太平洋沖地震」が発生

平成23年3月11日14時46分、「東北地方太平洋沖地震」が発生し、震度7にも達する大きな揺れと、それに伴う猛烈な津波により、極めて多くの尊い人命と莫大な資産が一瞬にして失われるという未曾有の大災害となりました。

○やれることは全てやろう！

こうした中、国土交通省では、道路、河川、港湾などの被災状況の迅速な把握を行うため技術職員による調査団、排水作業のためのポンプ車などの災害対策車、早期に地元の要望を把握するための橋渡し役である市町村リエゾン、海面を漂流する瓦礫回収のための海洋環境整備船など、多くの職員や災害対策車を東北地方の被災地に派遣し支援を行ってきました。

大量の瓦礫や広範囲にわたる水没地域で、電気や水道、通信手段などがままならず、ガソリンをはじめとする物資入手が困難な状況にある被災地域の方々のために、私たちは何が出来るのか、何をしなければならないのか、これまでの国土交通省の枠を超え、「やれることは全てやろう！」との思いのもと、余震が頻発し揺れや津波を心配しながら、また、地震直後は雪の降るなか、懸命に支援活動を行ってきました。

○来るべき巨大地震に備えて

四国においても、東海・東南海・南海地震などが連動する巨大地震の発生が危惧され、東南海・南海地震については、今後30年以内に60～70%の確率で発生するとの評価結果があります。東北地方の復興のため全国民を挙げての支援と共に、四国に住む私たちは、来るべき巨大地震への備えを着実に進めていかなければなりません。

ここに展示したパネルでは、今回の東日本大震災の概要、国土交通省四国地方整備局の東日本大震災への対応状況、東南海・南海地震など巨大地震に備えるための取り組み状況を紹介しました。東北地方の状況や四国における防災対策などについて、知っていただく一助となれば幸いです。



来るべき巨大地震に備え

～国土交通省の東日本大震災への対応と東南海・南海地震への取り組み～

○平成23年3月11日14時46分「東北地方太平洋沖地震」
東日本大震災の発生は、震度7にも達する大きな揺れと、これに伴う巨大地震により、極めて多くの犠牲者を出したと推定されています。この大震災により、国土交通省は、被災地での復興支援に全力を尽くすとともに、震災の教訓を踏まえ、防災・減災に向けた取り組みを進めています。

○やることは全てやろう！
このほか、国土交通省は、防災・減災に向けた取り組みを進めています。震災の教訓を踏まえ、防災・減災に向けた取り組みを進めています。

○来るべき巨大地震に備えて
巨大地震に備えて、国土交通省は、防災・減災に向けた取り組みを進めています。震災の教訓を踏まえ、防災・減災に向けた取り組みを進めています。

東日本大震災 巨大地震・津波のつめあと

国土交通省

被災地の様子

被災地の様子

被災地の様子

東南海・南海地震の特徴 ～繰り返される大規模地震と津波の高さ～

東南海・南海地震の特徴

津波の高さの分布図(高潮時)

東南海・南海地震の発生

東南海・南海地震の発生

南海地震の特徴と過去の被災状況(高知市、須崎市)

南海地震の特徴と過去の被災状況(高知市、須崎市)

高知市の被災状況

須崎市の被災状況

ただ、あぜんとする被災現場

被災現場の様子

東日本大震災の概要

東日本大震災の概要

- 発生日時: 平成23年3月11日(金)14時46分
- 震源: 三陸沖(牡鹿(おじか)半島の東南東(30km付近、深さ24km)
- 規模: マグニチュードMw9.0<国内観測史上最大>、最大震度7(宮城県栗原市)
- 断層面のすべり分布
- 最大すべり量 約30m、主な断層長 約450km、幅 約150km、破壊継続時間 約3分間
- 余震: M7.0以上5回、M6.0以上73回、M5.0以上425回(6月5日現在、気象庁調べ)

東日本大震災の概要(想定を超えた巨大津波)

被害想定と今回の津波の高さの比較

想定3地震と東北地方太平洋沖地震の津波高さの比較

東日本大震災の概要(被害状況)

東日本大震災における被害

死者(行方不明者)	死者 16,269名 行方不明者 8,206名 (18日0時現在、警察庁調べ)
被災者総数(住家)	全世帯 11万1,044世帯 半壊 7万1,838世帯 一部破壊 32万5,118世帯 全壊・半壊 261世帯 (18日5日現在、警察庁調べ)
避難者数	679,505人(18日5日現在、警察庁調べ) 44万8,683人(12月14日(ピーク)時点)
避難管理河川の被災	2,118箇所(12月30日現在、国土交通省調べ)
道路網の被災	岩手・宮城・福島3県(連絡距離長200km)において、全壊・半壊が約190km (15月16日現在、国土交通省調べ)
港川の被災	国際拠点港湾及び重要港湾 11港 地方港湾 16港 (国土交通省調べ)
下水道関係の被災	下水道処理場の機能停止 19箇所(岩手県、宮城県、福島県及び茨城県の沿岸部に係る下水道処理場) 管線 135km(岩手県等の下水道68.08kmのうち、857km)で被災 (6月30日現在、国土交通省調べ)
電気の被災	高圧送電線 19路線 変圧器 69区画 配電線等(中圧送電線) 103区画 配電線等(低圧送電線) 595区画 (6月17日現在、国土交通省調べ)
津波による浸水面積	宮城県 24km ² 、岩手県 58km ² 、宮城県 327km ² 、福島県 112km ² (4月18日現在、国土交通省調べ)

東日本大震災における被害

東日本大震災における被害

